

下村靖樹氏講演会

紛争下で生きる子どもたちからのメッセージ

～ 自殺が10代最大の死因を占める国、日本の子どもたちへ～

混迷を極める世界情勢。各国で戦いが繰り返され、いまこの瞬間も世界の紛争地では、多くの子どもたちが理不尽な暴力や恐怖に脅かされながらも、懸命に毎日を生きています。一方、「平和な国」といわれる日本では、10代の子どもが年間800人近く自ら命を絶っています。

昨年史上最悪の爆弾テロが発生した国ソマリアで生きる少年、ルワンダ内戦で孤児になった少女、ゲリラに誘拐され兵士にされた少年少女…約2ヶ月にわたる取材から戻ったばかりのジャーナリスト下村靖樹さんの講演会を今年も市原市で開催いたします。アフリカの戦地で見てきた少年少女達の姿を通じて発せられるメッセージ、「命の持つ強さ」を感じてみませんか？



下村靖樹

1971年兵庫県生まれ。

東京写真専門学校（現東京ビジュアルアーツ）報道写真学科卒業後、単身、20歳で初めてのアフリカ取材に赴く。以降20回以上アフリカを訪問。

ソマリア内戦、ルワンダ内戦、ウガンダ子ども兵士、エボラ出血熱などの取材を行い様々な媒体で発表している。また同時に、取材を通して出会った生と死の狭間で生きる人々から学んだ「命の儚さと強さ」を伝えるため、学生や社会人に向け、精力的に講演活動も行っている。

日時：3月24日（土）14：00～16：00（受付 13：45～）

場所：市原市市民会館 会議室3 市原市惣社1丁目1-1

募集人数：40名

※参加費無料 ※申し込み先着順

申し込み方法：電話、ファクス、公式ホームページから受付

定員になり次第、〆切

電話：043-226-3171 FAX：043-226-3172

メール：info@unicef-chiba.jp ホームページ：<http://www.unicef-chiba.jp>

主催：千葉県ユニセフ協会